

もりおか暮らしのアンケート集計結果

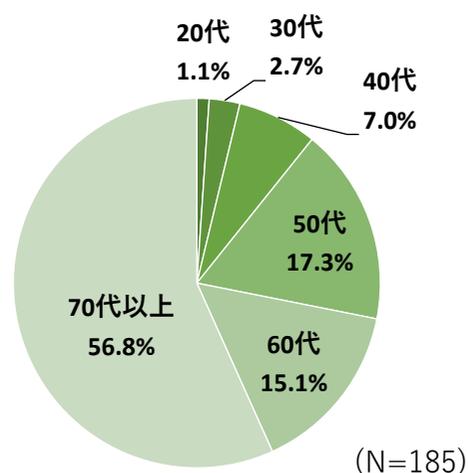
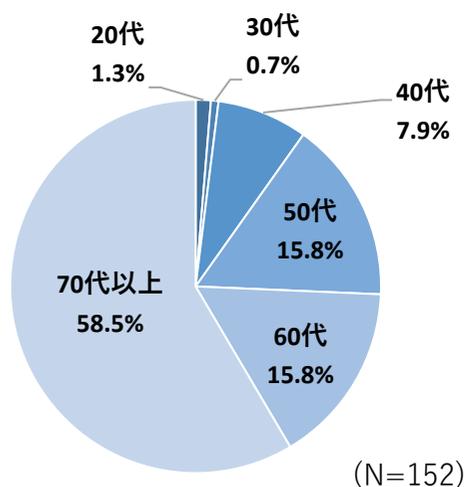
年度	令和6年度	令和5年度
対象	東日本大震災以降、盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主（主たる生計維持者）の方 (令和6年12月1日時点)	東日本大震災以降、盛岡市に転居し、現在も市内に居住している世帯の意見を代表する方、又は世帯主（主たる生計維持者）の方 (令和5年10月13日時点)
対象数	446世帯	478世帯
回答数	157世帯	194世帯
回答率	35.20%	40.60%
実施期間	令和6年12月13日～令和7年1月8日	令和5年10月26日～11月17日
調査方法	郵送、インターネット回答、原則無記名	郵送、インターネット回答、原則無記名

回答者の属性

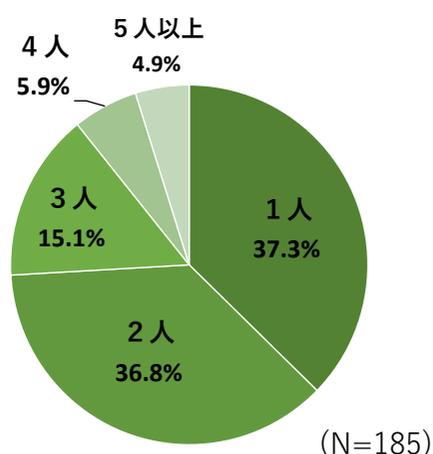
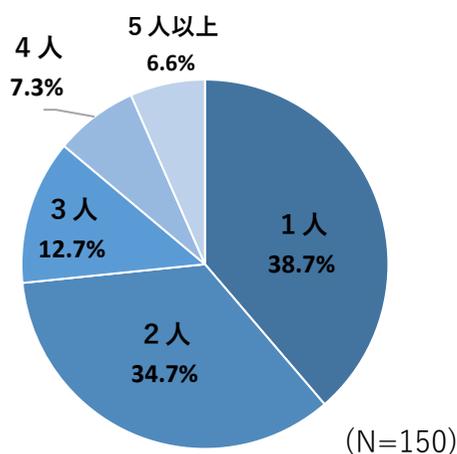
令和6年度

令和5年度

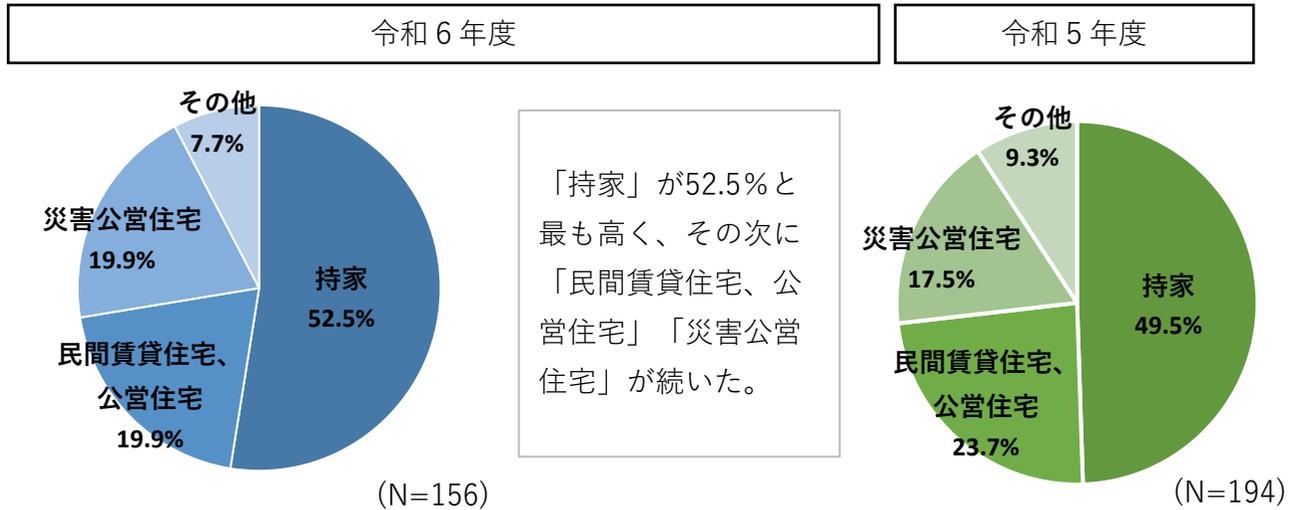
【年齢】



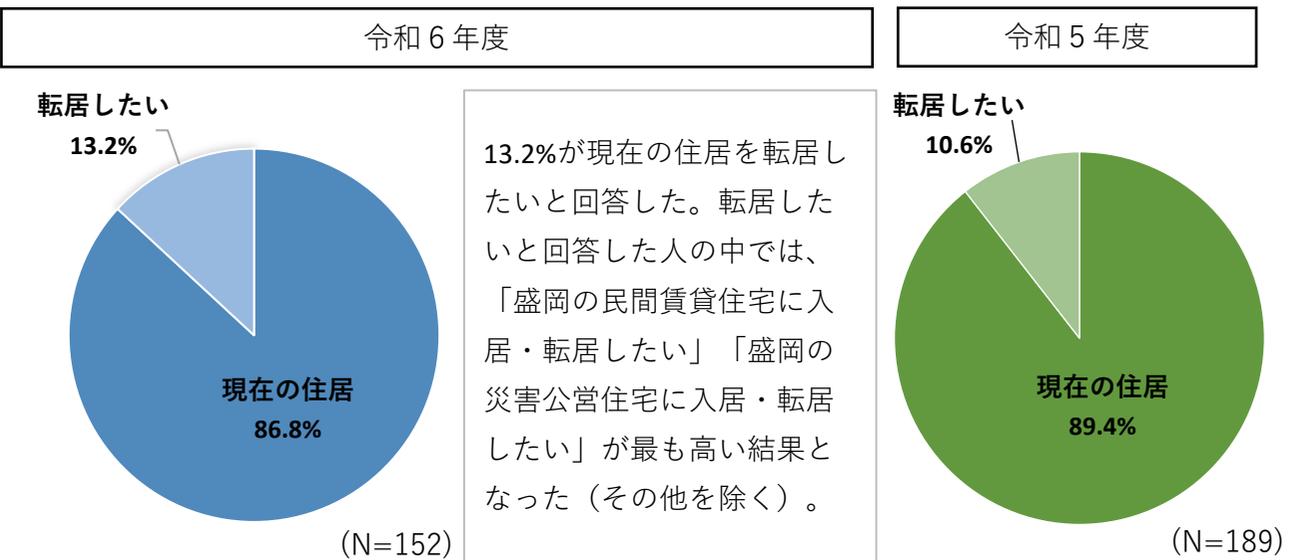
【世帯人数】



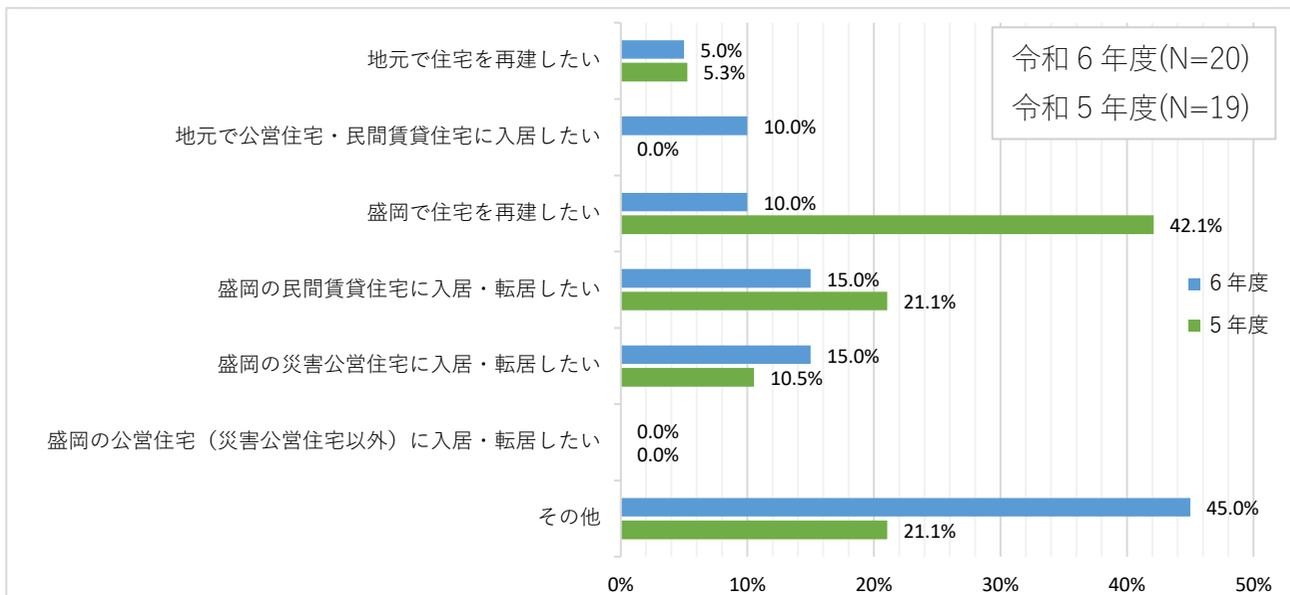
◆問1 あなたは、現在どのような住居にお住まいですか。



◆問2 これからの住まいをどのようにしたいと考えていますか。



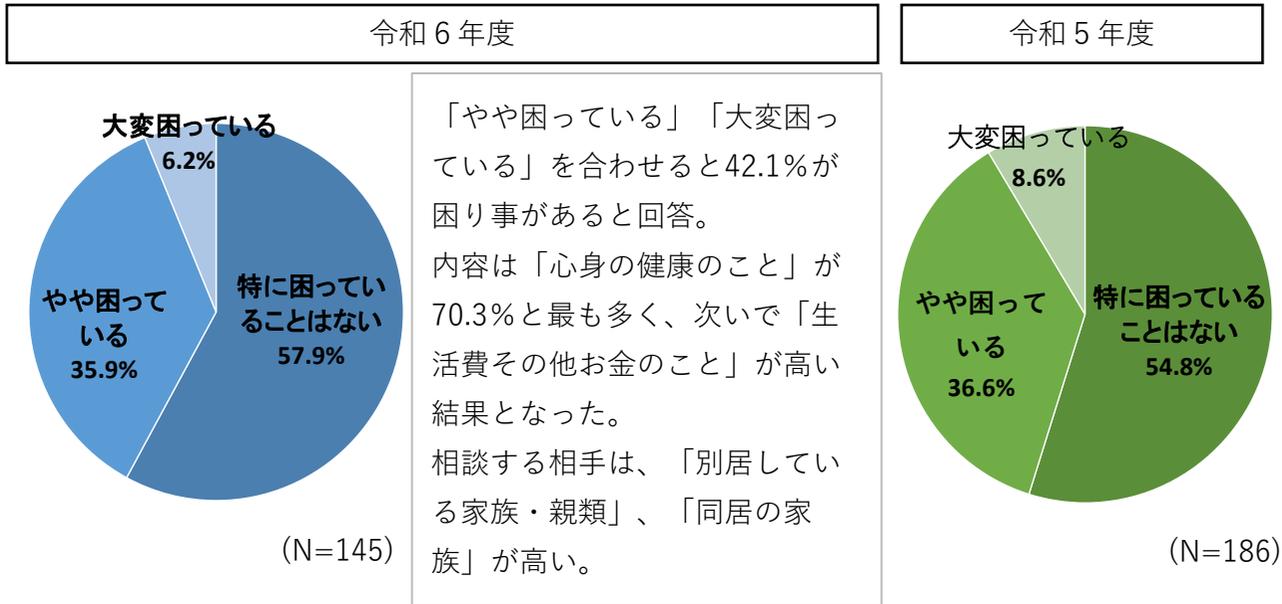
〔「転居したい」との回答の内訳〕



【その他欄記載内容】 ※趣旨を損なわない範囲で修正を加えています。

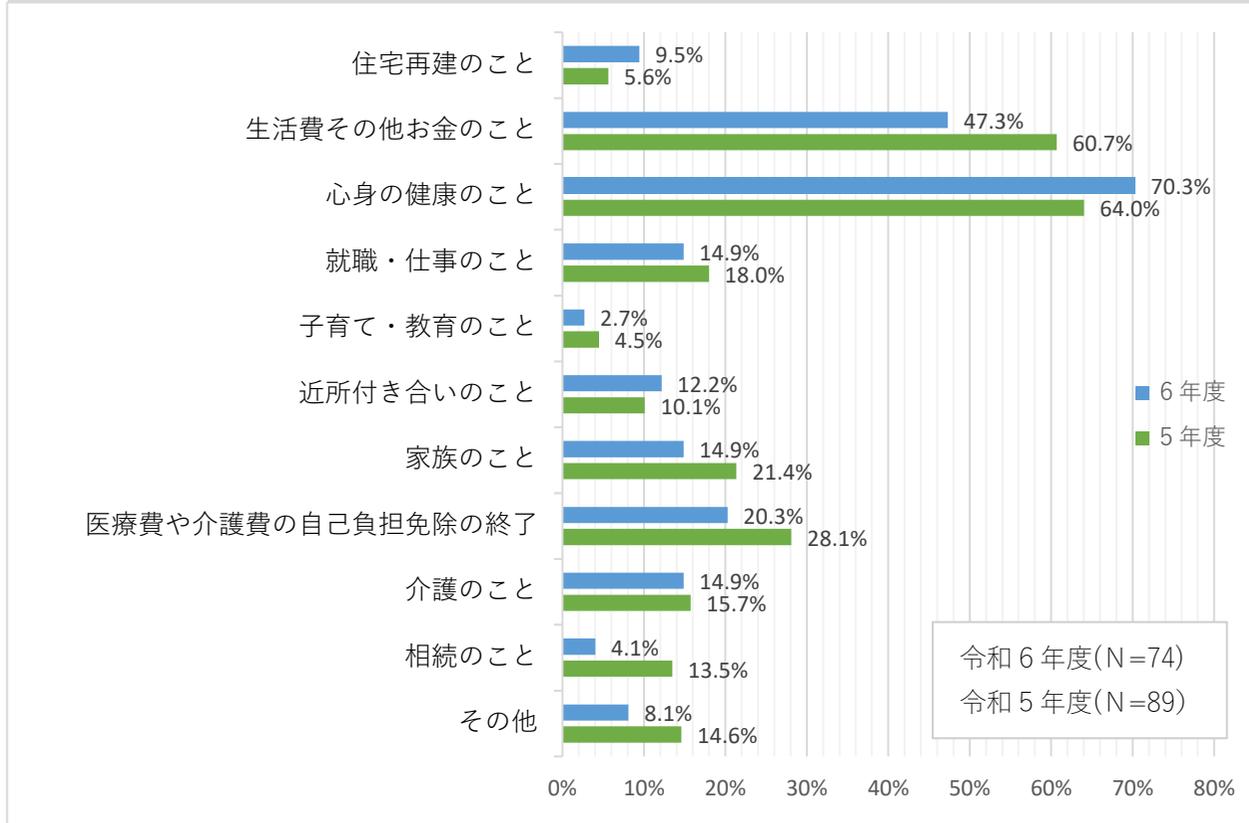
- ・体が動かなくなった際の心配がある。
- ・金銭的な問題がある。

◆問3 あなたの暮らしの状況を教えてください。



[問3で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。]

問3-1 現在の困り事や心配事は何ですか。(複数回答)

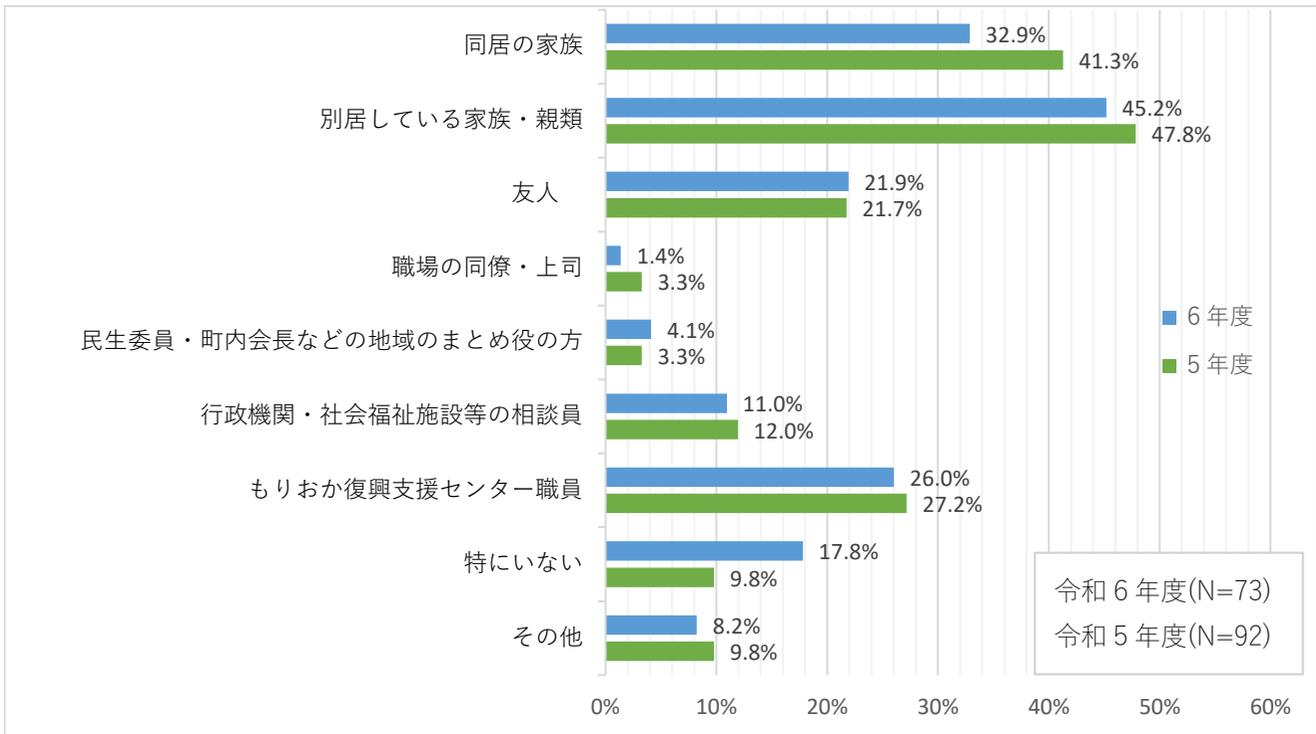


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・お寺とお墓は震災前の場所にあるため遠い。今後、墓参りに行けなくなるのではないかと心配。土地（山林、畑）が震災前の場所にあり、放置したままである。
- ・現在住んでいる災害公営住宅に住み続けたいが、家賃が年々大幅に上がり生活費を圧迫しているため、今後の生活に大きな不安があり精神的にも辛くなっている。

〔問3で「やや困っている」「大変困っている」と回答した方にお伺いします。〕

問3-2 生活上の困り事や心配事を相談する相手は誰ですか。（複数回答）

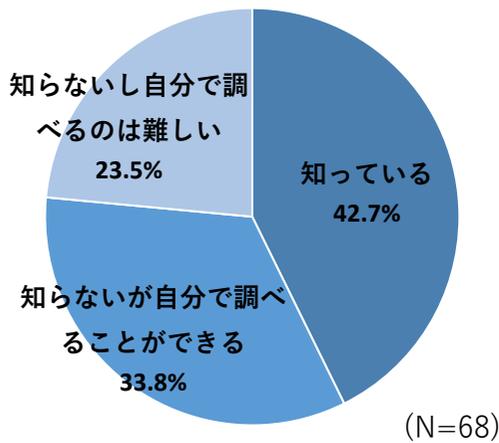


【その他欄記載内容】

- ・担当医

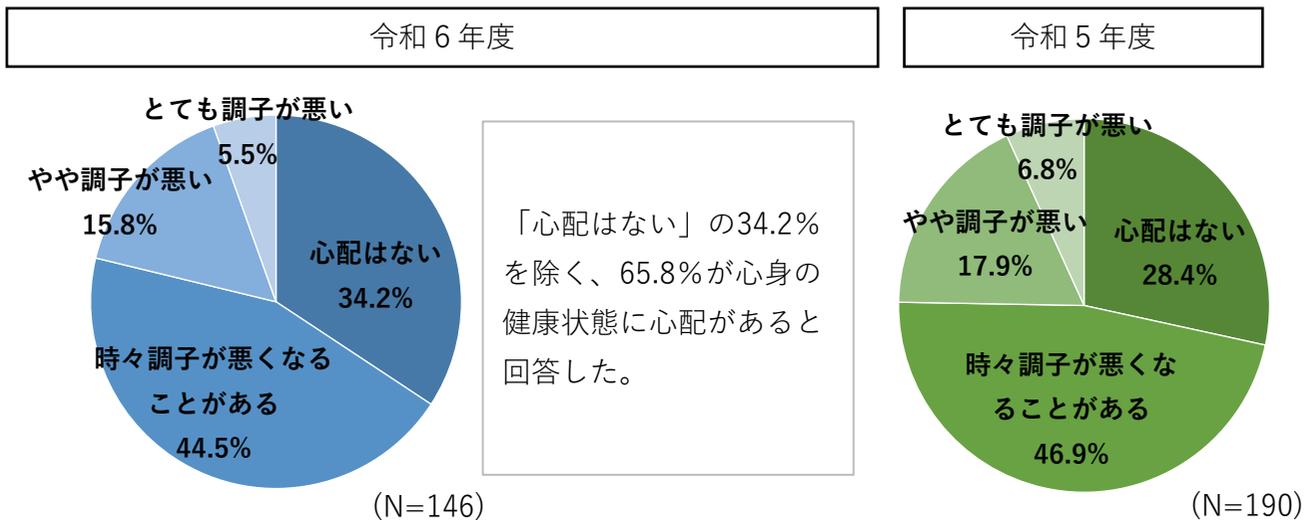
問3-3 生活上の困り事や心配事を相談できる公的機関を知っていますか。

【令和6年度新規項目】



「知っている」「知らないが自分で調べることができる」を合わせると76.5%となり、「知らないし自分で調べるのは難しい」は23.5%となった。

◆問4 あなたの心身の健康の状況を教えてください。

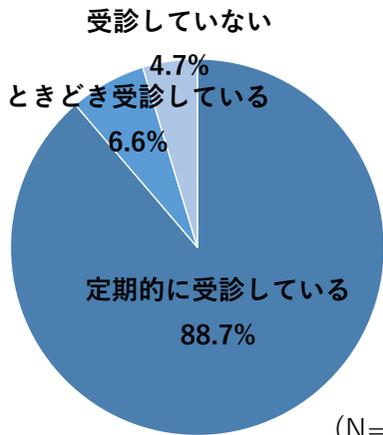


〔問4で「心配はない」以外の回答をした方にお伺いします。〕

問4-1 現在、医療機関を受診していますか。

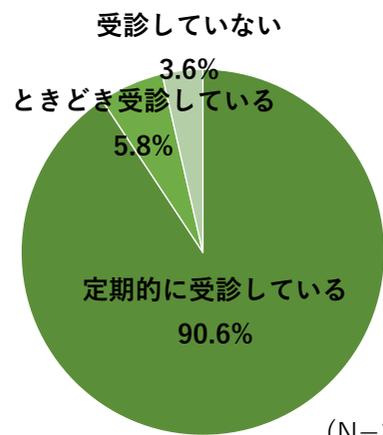
令和6年度

令和5年度



「定期的に受診している」「ときどき受診している」を合わせると95.3%が医療機関を受診していると回答した。

(N=106)

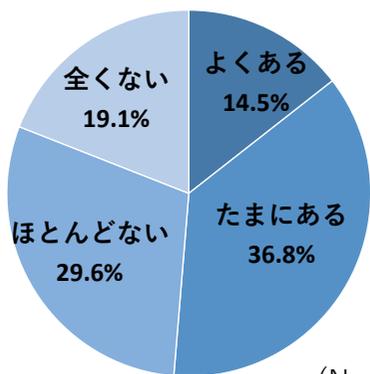


(N=139)

◆問5 近所の方と交流はありますか。

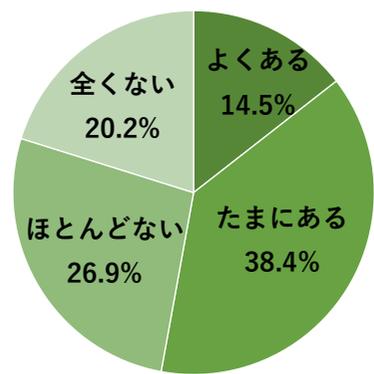
令和6年度

令和5年度



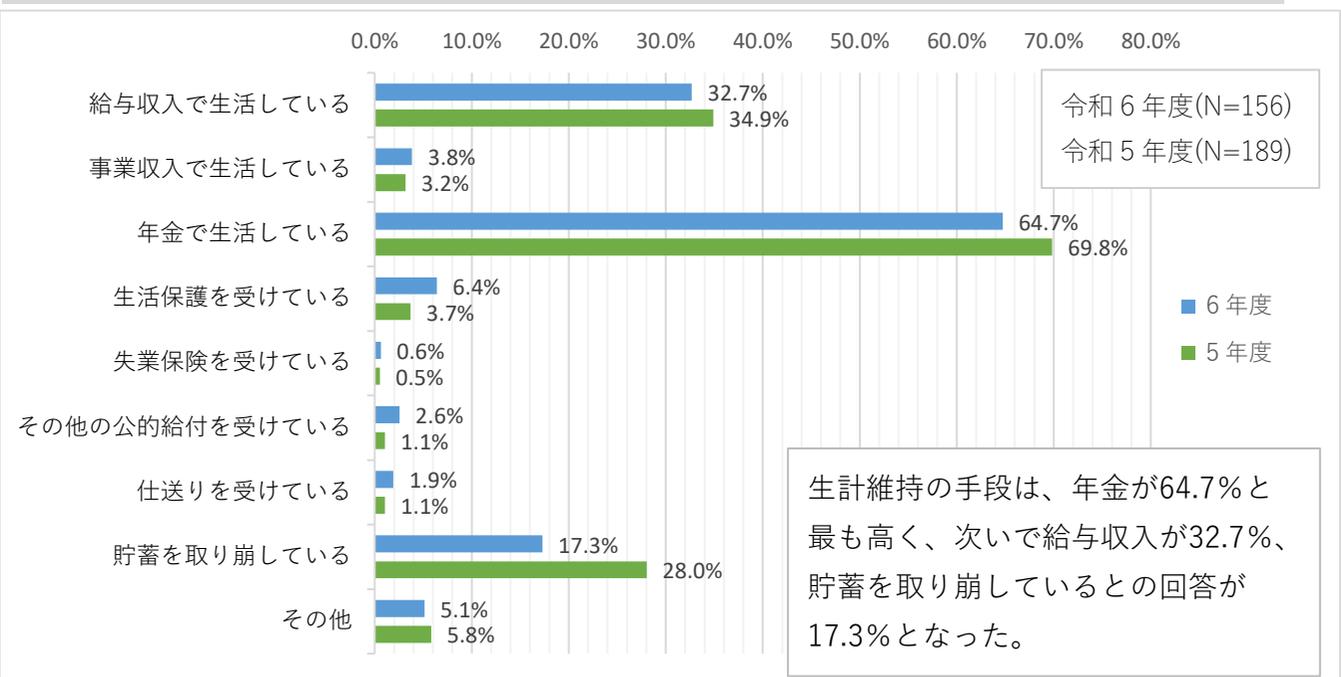
「ほとんどない」「全くない」を合わせると48.7%が「交流がない」と回答した。

(N=152)



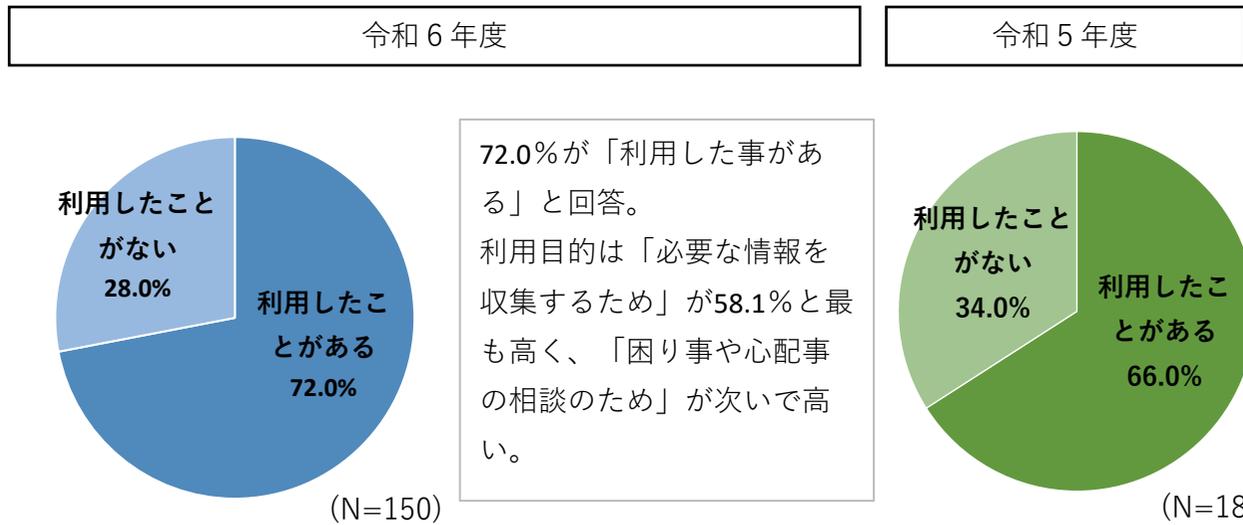
(N=193)

◆問6 あなたの世帯は、どのように生計を維持していますか。（複数回答）



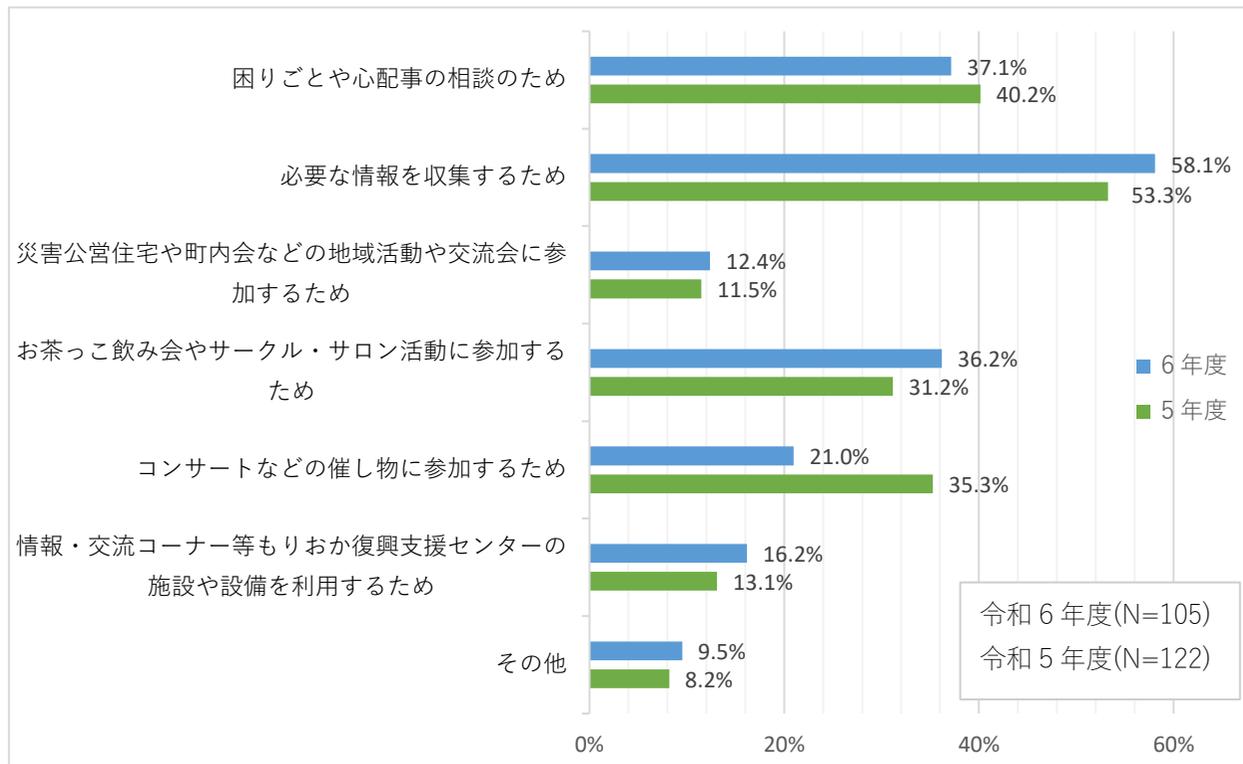
生計維持の手段は、年金が64.7%と最も高く、次いで給与収入が32.7%、貯蓄を取り崩しているとの回答が17.3%となった。

◆問7 あなたは、もりおか復興支援センターを利用したことがありますか。



〔問7で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問7-1 あなたは、もりおか復興支援センターをどのように利用しましたか。（複数回答）



【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

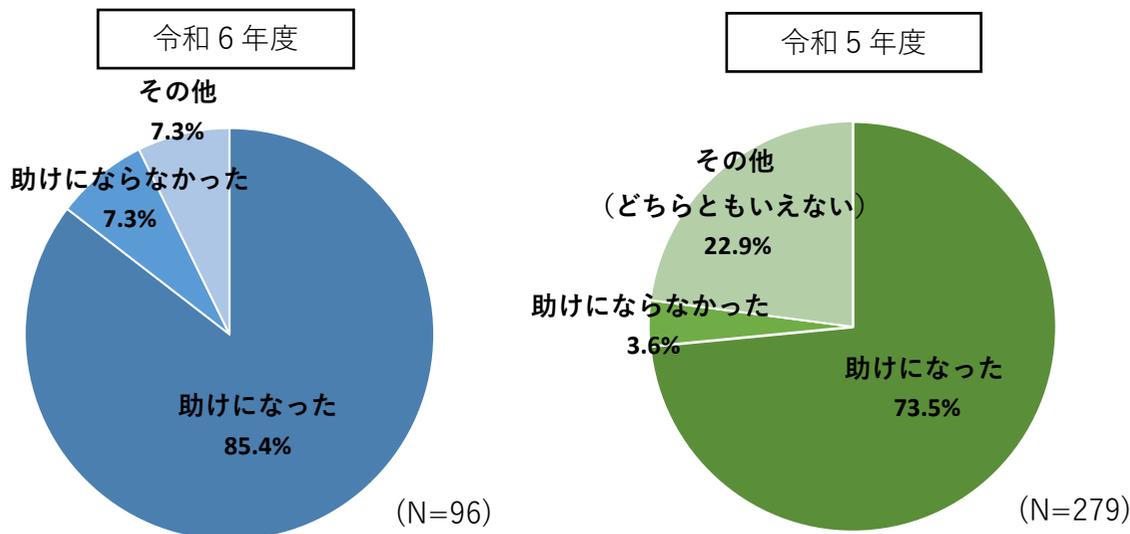
- ・支援物資等の受け取りに行った。
- ・街歩きの際に立ち寄った。
- ・仕事のため支援センターの行事に参加できません。母は訪問を楽しみにすごしています。

〔問7で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問7-2 あなたは、もりおか復興支援センターを利用してどのように感じましたか。

(困りごとや心配事の解決、情報収集、気分転換の助けになったか。)

※令和5年度の値は、「困り事や心配事を解決する助けになったか」、「必要とする情報が得られたか」、「リフレッシュできたか」の各問を合算したものの。

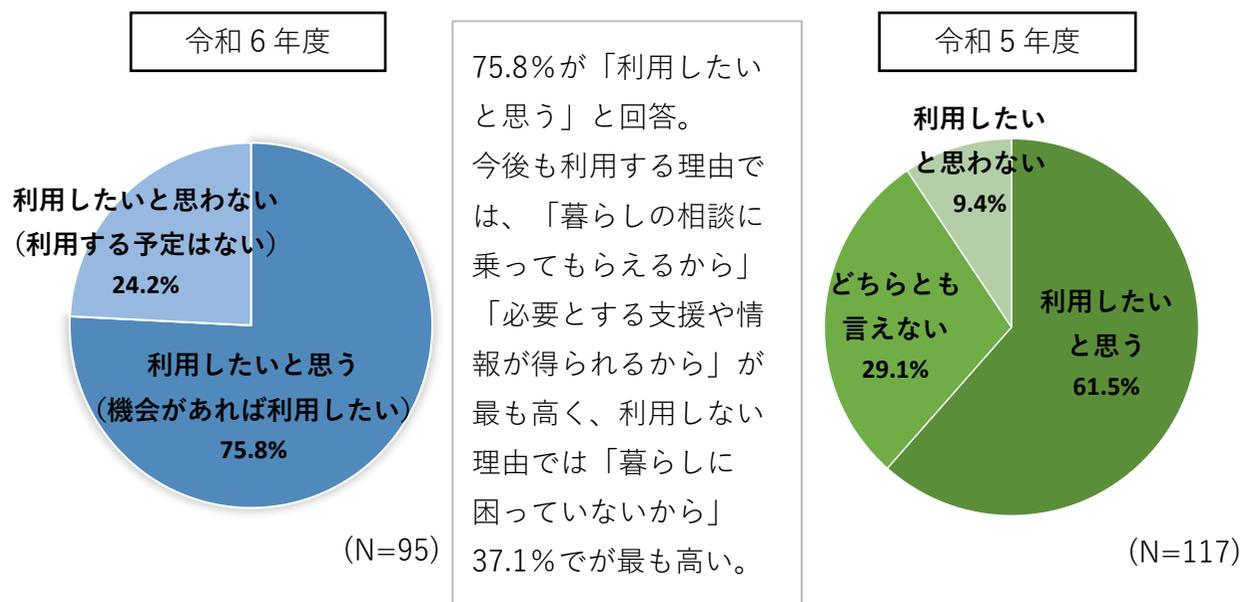


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・たまにしか行かないので、誰にどう声を掛けていいのかわからなかった。顔見知りの方々は、センターの方からも声が掛けられ、話も盛り上がっていた。入り込めない雰囲気があった。
- ・時々、訪問してくれることを母が心強く思っています。
- ・能力がまったく足りてない。
- ・盛岡に住んで10年以上になりました。おかげ様で生活面での困り事はありませんので。
- ・知人、旧友人との交流ができ、新しく知人となれ、機会も作ってもらえる良い場所。
- ・今は歩くことが困難のため参加できていない。
- ・親身に話を聞いてくださりとてもありがたかったです。

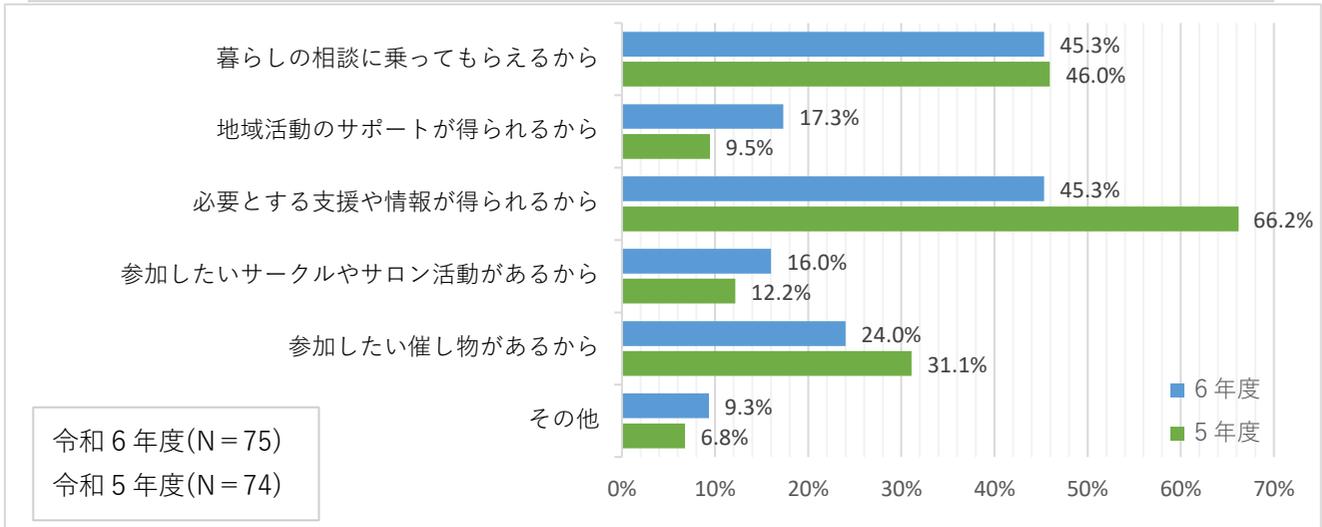
〔問7で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問7-3 あなたは、もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思いますか。



〔問7-3で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

問7-4 あなたが、もりおか復興支援センターを今後も利用したいと思う理由を教えてください。（複数回答）

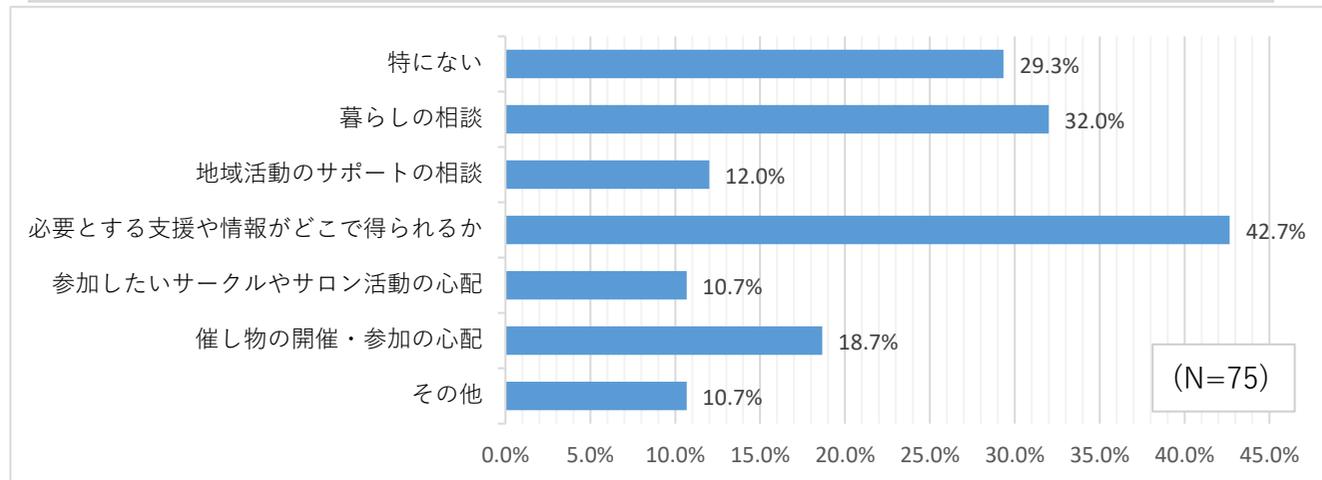


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・暮らしの相談に乗っていただける窓口ということで心強く思っています。
- ・センターの存在そのものに支援されていると感じる。心強く見守っていただいている。
- ・同じ様な経験や思いを共有する人達と交流できる。
- ・いざと言う時の相談先となるため、心の支えになっている。
- ・現在は、年齢的に足腰が弱り、参加したくても出来なくなりました。

〔問7-3で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

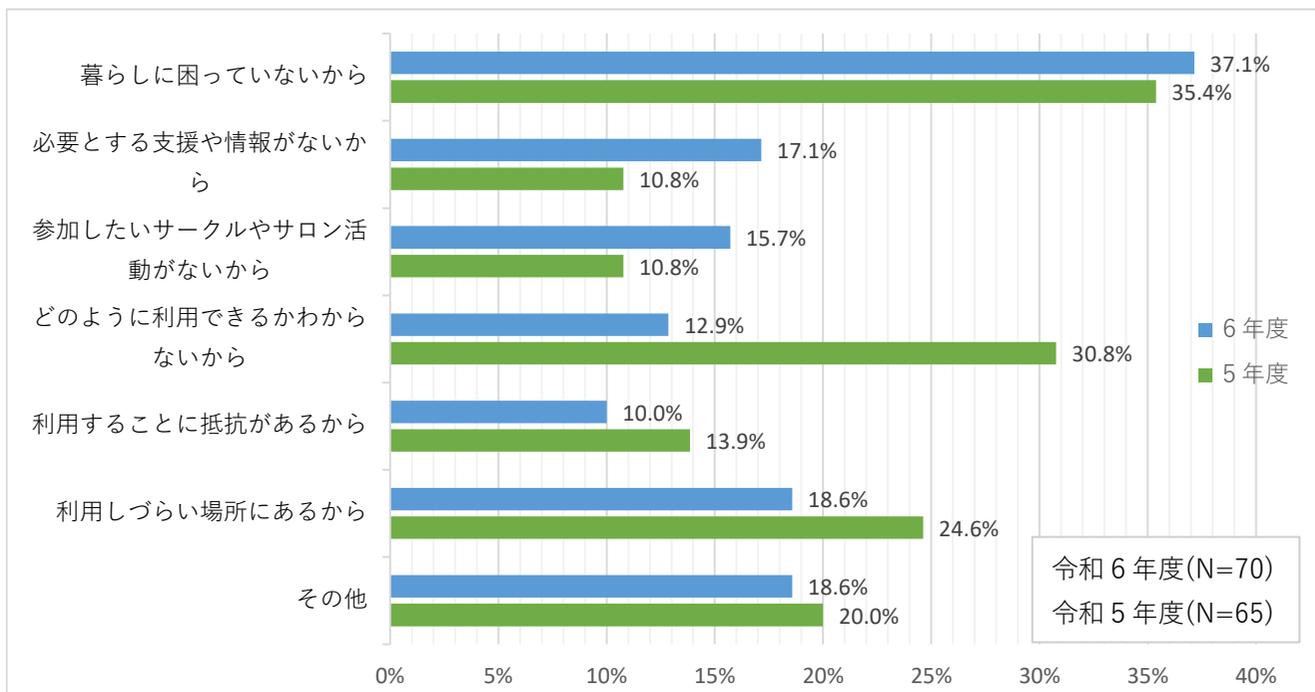
問7-5 今後、復興事業が終了し、もりおか復興支援センターが利用できなくなった場合、どのような心配事がありますか。（複数回答） 【令和6年新規項目】



【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・夫婦とも後期高齢者ですので市役所等へ相談して解決したいと思う。町内会に連絡を出したり行事に参加したりする。
- ・暮らし相談は今のところないですが、何かあったら近くの民生委員に相談しようと思っています。
- ・暮らしの相談などの深刻な悩みは、ある程度落ち着いてきており、むしろ自立したいと思っているので、事業終了は仕方ない事と思う。手厚い支援のおかげで、今があると感謝しています。
- ・今までは、問題があってもその都度、関係機関に紹介していただいて解決してきました。
- ・アパート内で町内会の役員決めや掃除などをサポートしていただいているが、入居者だけでは物事を決められない状態です。私達が自立できるよう残された時間の中で教えて欲しいです。

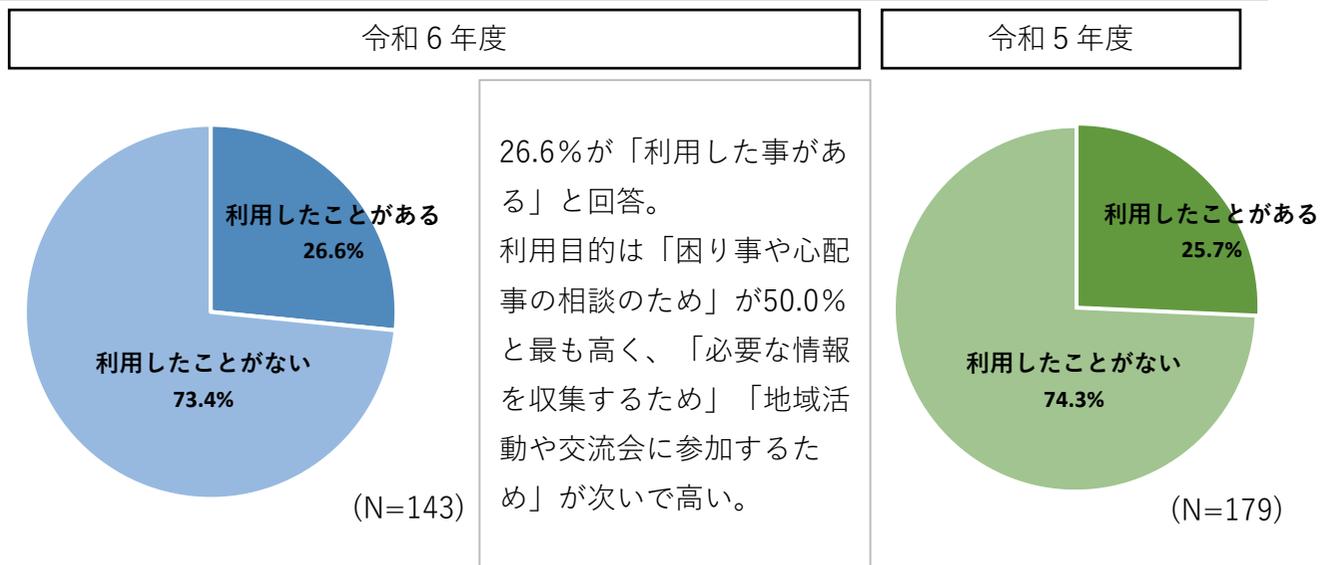
〔問7で「利用したことがない」、問7-3で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺
**問7-6 あなたが、もりおか復興支援センターを利用しない、今後利用しようと思わない理
 由を教えてください。（複数回答）**



【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

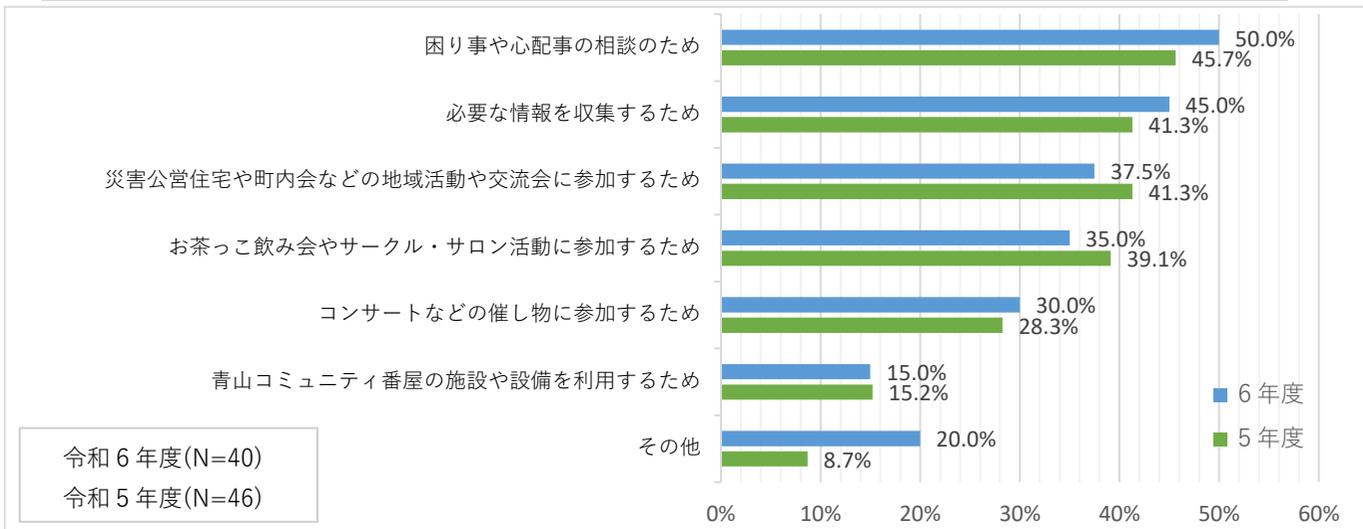
- ・ただの自己満足をしているにすぎない。盛岡のことについて、検索で調べて入手できないような情報を答えられてこそ存在意義があるのに答えられず役に立たない。自らが提唱・企画することには熱心だが、相談・要望には一切応じてくれない。
- ・年齢や歩行などの健康面で心配があり利用できない。
- ・案内があるが平日が多く、仕事で参加できない。
- ・歩行者困難であり介助者の送迎がないと参加できない。家族も就労しており、付添いが難しい。
- ・被災当初は、とても支援をいただき、無くてはならない存在でした。盛岡の住民として時が流れ、地域（職場や地域活動）に溶け込んで行くのが先決となりました。

◆問8 あなたは、青山コミュニティ番屋を利用したことがありますか。



〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-1 あなたは、青山コミュニティ番屋をどのように利用しましたか。（複数回答）



【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

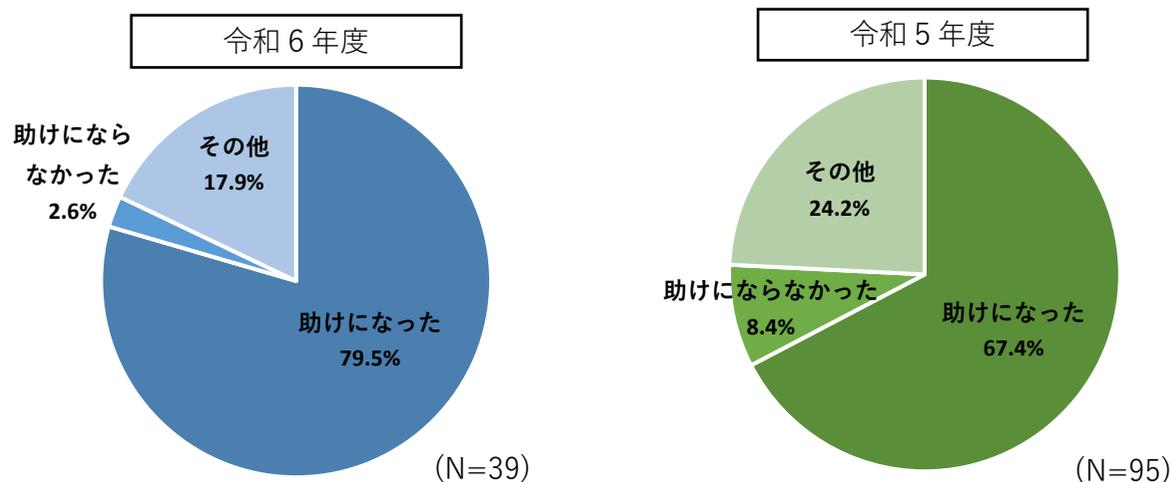
- ・興味ある催し物があった時に利用した。
- ・遠いから一度も行ったことがないです。特に母は高齢で利用ができませんでした。
- ・アパート会の活動をするにあたって、助言や住民への声掛け等、多岐に渡ってお手伝いしてもらっております。

〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-2 あなたは、青山コミュニティ番屋を利用してどのように感じましたか。

（困りごとや心配事の解決、情報収集、気分転換の助けになったか。）

※令和5年度の値は、「困り事や心配事を解決する助けになったか」、「必要とする情報が得られたか」、「リフレッシュできたか」の各問を合算したものの。

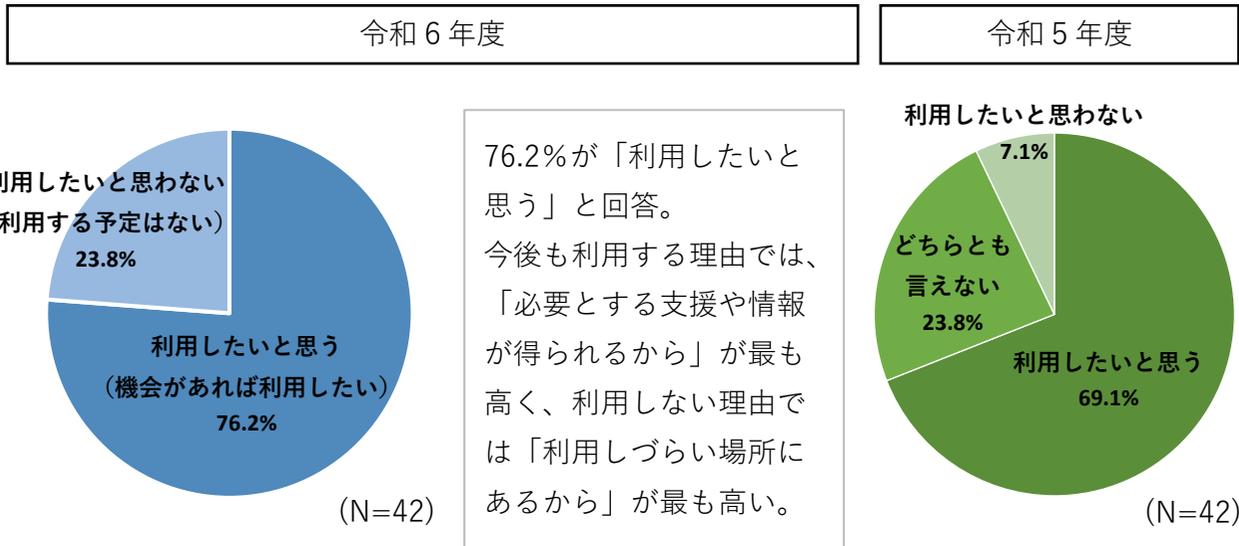


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・良い点 いつでも利用できる。
- ・悪い点 住宅に住んでいる人の、ほんの少しの人達しか継続的に利用していない、孤立している人もいるのではないかと思う。
- ・能力の低さ等を感じた。仕事がだらだらしてゆるい。人数が多すぎる。1人でできることを2人でやっている。
- ・復興センター、番屋さん、皆様とても心身になっていただいて、職員さんも皆良い方で助かっています。できれば、ずっと居てくださると嬉しいです。

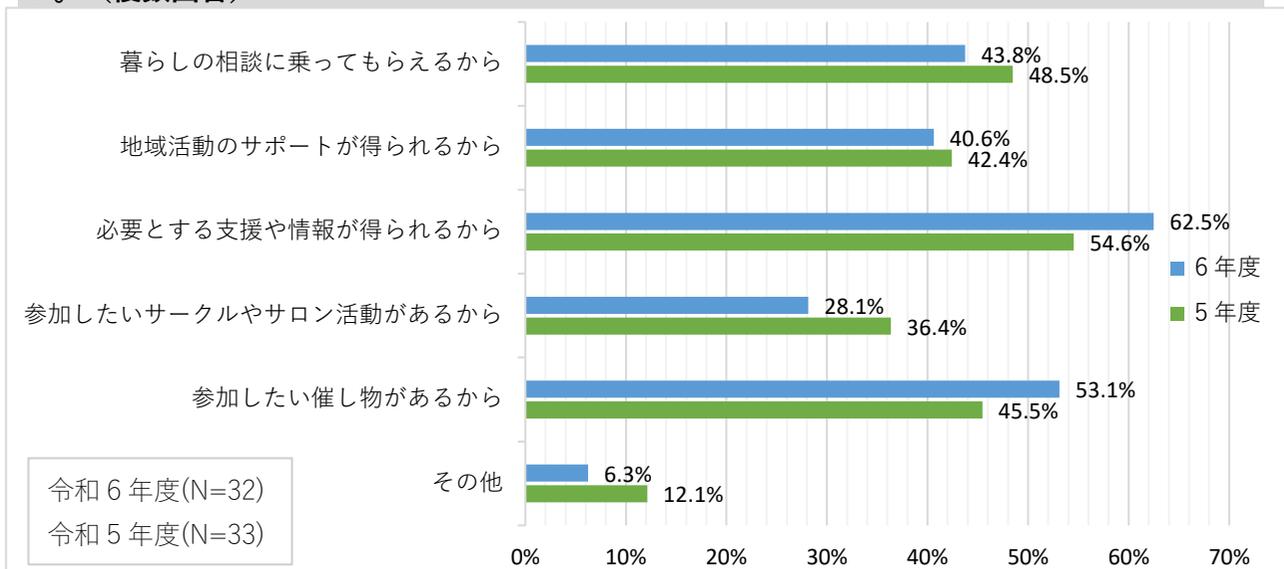
〔問8で「利用したことがある」と回答した方にお伺いします。〕

問8-3 あなたは、青山コミュニティ番屋を今後も利用したいと思いますか。



〔問8-3で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

問8-4 あなたが、青山コミュニティ番屋を今後も利用したいと思う理由を教えてください。(複数回答)

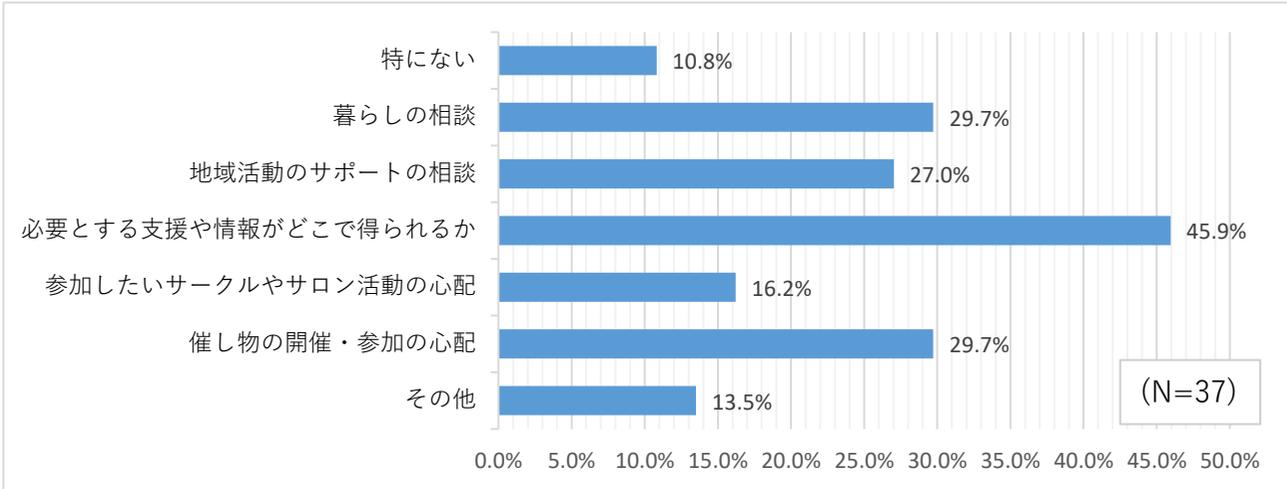


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えています。

- ・ 共益費の支払いや質問に答えてもらうために使う。
- ・ 日程が合わず参加できていなかったが、機会があれば参加したい。
- ・ 定期的に訪問もあって、いつも気を配っていただいています。

〔問8-3で「利用したいと思う」と回答した方にお伺いします。〕

問8-5 今後、復興事業が終了し、青山コミュニティ番屋が利用できなくなった場合、どのような心配事がありますか。（複数回答） 【令和6年度新規項目】

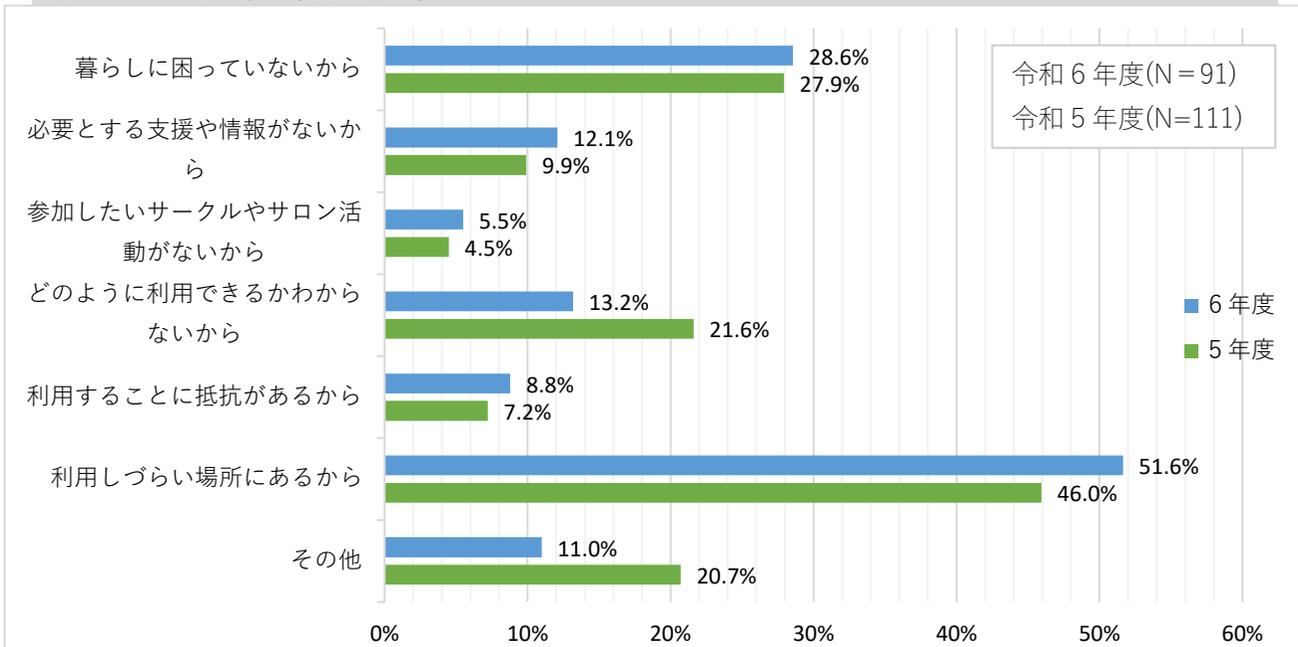


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・ 共益費の支払いに困る。質問するところなくなる。
- ・ 夫婦2人とも後期高齢者になる。相談事は、市役所等へ連絡して教えてもらう。
- ・ 心配事の解決ができなくても、悩み事を聞いてもらう心のよりどころであったが、震災から13年もたったので、いつまでも頼ってられないという思いもある。

〔問8で「利用したことがない」、問8-4で「利用したいと思わない」と回答した方にお伺い

問8-6 あなたが、青山コミュニティ番屋を利用しない、今後利用しようと思わない理由を教えてください。（複数回答）

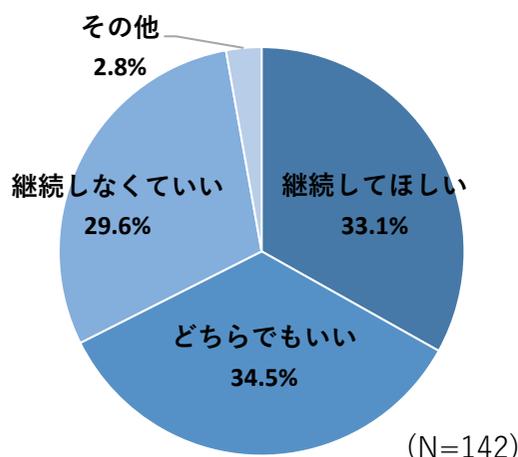


【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・ 備後第1アパートに住んでいます。イベントに参加したいが、バス利用の為、参加することが難しいです。また、南青山アパートの住人と交流がないため参加しづらいです。
- ・ 立地的な問題のほか、歩行困難など、身体的な理由のため。
- ・ 被災者としてではなく盛岡市民として、盛岡の行政機関等を利用する方向。
- ・ 仕事をしていると休みの日は色々用事があり忙しく、中々参加は難しいです。

◆問9 盛岡市では、東日本大震災により避難されてきた方々を対象に、今後の支援活動の参考とするため、「もりおか暮らしのアンケート」により、暮らしの状況や今後の居住意向等をお伺いしていましたが、皆様の「もりおか暮らしのアンケート」に対する考えを教えてください。

【令和6年度新規項目】



「継続しなくてよい」「継続してもしなくてもどちらでもよい」を合わせると64.1%となり、「継続してほしい」と回答は、33.1%となった。

【その他欄記載内容】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・私は必要としないが、人によってはいろいろ困っている人がいると思う。
- ・皆様の支えのおかげで、あの大変な震災の出来事を忘れる事はありませんけど、日々の生活で頭をよぎる事はなくなりました。長い間の見守り、本当に有りがとうございました。
- ・今後の支援活動の参考になるのであれば継続して欲しいですが、職員の皆様の負担が大きいと思いますので、復興事業の終了をもってやめてもいいと思います。
- ・継続して欲しいとは思いますが、経費を抑えられるようにできたらいいですね。
- ・継続するべきだが、アンケート形式ではなく自由記述方式で充分。

◆問10 現在の困り事や心配事などのほか、盛岡での生活や将来について、日頃考えていることがありましたら自由にご記入ください。

【主なもの】※趣旨を損なわない範囲で修正を加えている部分があります。

- ・今の持家は将来的に不要になりますので、災害公営住宅に移りたいと思っています。まずは募集でもいいのですが、東日本大震災で被災された人への優先的な入居対応をお願いします。
- ・現在、50代ですが、私が老人になった時には、やはり山田町にお墓がありますので、お墓の近くに住みたいです。安心なので。
- ・生活費は、きりつめて暮らせますが、病気だけはどうしようもできません。医療費自己負担免除をお願いします。
- ・医療費がかかり大変である。※免除が3年前に切られ、段々年をとってきていて、いつまで運転できるかわからない。震災のせいで、60才から年金を前倒ししてもらっていて、生活費が大変です。県のアパートに住んでいるが、県から市のアパートに移れないと以前に聞き、それもおかしいと思っている。生かされたがやはり先の事は不安です。
- ・物価が高い。年金では足りない。
- ・災害発生時から、いち早く手厚い支援をいただき、ほんとうに感謝しています。こうした支援を受けて、私達も落ち着いた暮らしが出来るようになりました。楽しめるサークル活動もでき、愚痴をこぼしたり、笑いあえる場もできました。お互い情報交換しあえることも有りがたいです。ただ年齢を重ねることだけはどうしようもなく「元気でいたい」と思いながらも、健康面だけは、不安の種です。本当にありがとうございました。

・震災が起きる前、私が盛岡で生活するなんていっぺんも考えたことがなかった。震災後も6年山田で働き続けた。退職して家族で相談し、盛岡に移住した。それまで築き上げた付き合いは、そこで途絶えた。現実は今家族だけです。（趣味や運動で知り合った方々とは正直表面だけの付き合いですが、それでいいと思っています。）盛岡は、どこにでも行きやすく市内も散策しやすくいい所に来たと感謝しています。山田は、仕事に家庭にと、頑張っていた私の人生の充実期でした。

・震災から長い間お世話になりました。お電話いただいたり、訪問して下さったり色々お話させていただきました。私は、盛岡に家もあり、主人の仕事も続けられ、暮らしに困る事はありませんでしたので、支援センターに立ち入る事は、気持ちの上で、私が行く場ではないという思いが強くありました。でも皆さんの寄り所としての存在を応援しておりました。時折お話する度に寄り添っていただく事に感謝していました。本当に有難うございました。

・高齢なので、私の亡きあと今の持ち家をどうするのが一番いいのか考えている。病気の息子を施設に入れて、不動産を売るか福祉関係に使ってもらうか等、娘とも相談していきたい。

・盛岡市に住んでお世話になって何年も経っていますが、高齢になって移り住んだためなのか盛岡を未だ知らずに暮らしている気がします。市の広報を読んでもどこにあるものなのかわからないままです。近所付き合いも全くないので煩わしさもないけれど少し寂しい気もします。地震のたびに海の心配をしていた頃のことを思うと穏やかに暮らせて気が楽です。

・アンケートに記入しても改善につながらず残念。震災からも時間がたち、自らの力で生活を再建するのが当然と思われても仕方がないのだが、賃貸アパートに住んでいるので、家賃減免などずーっとあれば本当に助かります。

・今まで、物心両面で大変お世話になってきました。今後、東日本大震災も未解決の問題も残っています。能登半島の地震や、その後の大雨の被害もまだ復興しておりません。南海トラフもいつ発生するか時間の問題です。北海道・東北の一部後発地震（M7）発生も時々ニュースに出ています。このような災害が予想されるのに「第2期復興・創生期間」が終了してよいのでしょうか。岩手県でも盛岡市でも国へ働きかけていただきたい、災害に終わりはないです。復興支援センターも青山コミュニティー番屋も閉めないでください。

・現在は、体調に関しての心配事が大きいですが、病院が家のそばなのでがんばります。センターの皆様方には大変お世話になっています。言葉がございません。感謝です。しかし、もう被災者枠から脱出しなければと思っています。盛岡の一市民として生活しなければなりません。語りつくせないと思いました。老化に伴う不安が大きくなっていますので、相談の窓口をよろしくお願いします。

・盛岡に来た時は、ある程度貯蓄はあったが、今は年金のみの暮らしをしている。孫の学費の面については、色々支援を受けているが、生活については大変だ。備後第1アパートの周囲には沢山の花壇があり、今は入居している高齢者が手入れをしている。今後はやれる人が少なくなると思う。玄関周辺の除雪についても同じことが言える。

・コロナの後の物価高で日々の生活を凌ぐのがやっとです。それでもせきれい号のバス旅行は、帰って来てからも色々収穫が大きく、図書館で調べたり、本を借りて読んだり自分にとってはとても結果が良く、今後も続けて欲しいと思います。ありがとうございました。

・アパートの階段の上り下り、現在は大丈夫ですが、加齢と共に気になることがあります。今後は、子供と生活するという約束ですが、迷惑をかけたくないという思いがあります。今後も盛岡での生活が続きますが、福祉施設、老人ホーム等、時々思うことがあります。今後とも、御指導宜しくお願いします。

- ・物価高騰の為、生活費、税金の支払いが困難。盛岡市独自の物価高騰対策をしてほしい。
- ・能登半島地震の災害復旧のため1週間現地に入りましたが、東日本大震災の時にはなかった地面の陥没や隆起に愕然としました。また、8月には盛岡市内を中心に局地的な大雨に見舞われ、中津川が氾濫危険水位を超えたため、道路の陥没や浸水の被害が相次ぎました。さらに10月に入り岩手山で火山活動が高まり、今後噴火の可能性があるととして噴火警戒レベルが引き上げられました。普段から防災の意識はしていますが、あらゆる災害を想定した防災対策や災害が発生した時の家族内での意識合わせを再確認しなければならないと感じました。
- ・岩手山、駒ヶ岳、十和田湖、陸奥湾が近い将来噴火するのではないかと心配しております。自然の怖さを知っている私は、周りの方にも私の経験を元に、災害時に困った事などを伝えていけたらなと思っています。
- ・終了することにより知人、友人と会う機会が少なくなり、引きこもってしまうのが心配である。なかなか盛岡の友人が作れない。地域との関係性が作られていない。近所に心を許せる人がいない。
- ・2011年からたくさんの方の支援ありがとうございました。最近どうですか？と定期的に連絡を何年も続けてくださり嬉しかったです。色んな方から色んな形での支援があり、とても支えられました。
- ・若いころ、盛岡は憧れの町でした。老いて定住するとは思いませんでした。岩手山を見て「古里の山に向いて云う事なし古里の山はありがたきかな」と岩手山に向かって言っています。今は3.11の大きな波、懐かしく山や海を思い「古里の海に向いて云うことなし古里の海はありがたきかな」と思い頑張っています。
- ・発災後、13年に渡り、被災した人達を支えていただきまして感謝いたします。慣れない土地での生活の中で時々尋ねていただき、日常のことや健康のこと、心身のことまで聞いていただいたことはありがたかったです。事業が終了することは残念ですが、いつまでも頼ってばかりられないのだと、自立をすることも復興と考え、残された命を生きたいと思います。職員の皆様、ありがとうございました。
- ・夫の母親を被災地の介護施設にお願いしていますが、自分も70代後半となり、今後は不安です。アレコレ考えて日々気分が沈みがちです。
- ・60歳になったら公営住宅に入居できるので戻りたいです。でも、仕事が無ければ1人なので無理でしょう。帰りたくても帰れません。今はそんな気持ちですが、頑張って仕事しています。
- ・災害公営住宅を利用したいと思っていましたが、子供の生活拠点等があり、現在も実家で生活しています。今は、子供たちも成長し、特に不便も感じなくなりましたが、やはり実家で暮らし続けるのもある意味大変でした。災害公営住宅に限らず、被災者が住みやすい場所で住みやすい支援があれば良かったと思っています。
- ・震災から13年、かなり時が過ぎて新しい災害も増える中、いつまでも引きずりたくない。子供たちや盛岡の全市民の為に有効に税金を使ってもらいたい。震災は、もう十分に支援されてきたと思います。
- ・これからの積雪の多い朝が心配です。夜中に降った雪を私は除雪はできませんので、リハビリを休む事があります。除雪してくれる人が居ると助かります。
- ・被災してから十分に支援をしていただきました。避難先の盛岡に定住し、安心して暮らせております。

・内丸でのお茶っこ会に参加したおかげで、人との交流ができました。また、盛岡の町になじむこともできて、今も楽しく生活しております。災害公営住宅入居の際には、相談に乗っていただき、今の所に住むことができて良かったです。復興支援センターの皆様には、大変感謝しております。

・1人住まいなので、不慮の出来事が生じた時が心配です。

・もりおか復興支援センターの活動は？役割は？震災後に障がい者となりました。世帯主を亡くし、単身世帯となりましたが、みなし仮設を出てからは、支援らしい支援はありません。今後の生活への不安があります。

・足が不自由なので、ゴミ収集場所をもっと近くに作ってほしい。

・近所付き合いがないため、1日だれとも話すことがない。週に4回デイサービスに行くのでお金がかかる。支援センターに行けたら知っている方と話すことができるので楽しかった。

・番屋が無くなることに対して、すごく不安を感じております。何とか残してほしいなと思います。

・1人暮らしで病気を持っており、相談相手が無く困っております。

・故郷を見に行くチャンスがあれば最高なのだが。

・毎日忙しくしているが、時間と共に震災の事を思い出すことが少なくなっている。盛岡に来て本当に良かったとしみじみ思う。子供達も社会人となり、時の流れの早さを感じます。右も左もわからない私達に、盛岡の方々、センター職員の方々、地域の方々にとっても親切にしてくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。この盛岡にずっと住みつづけたいです。